

ステークホルダーエンゲージメント

PPIHグループは、企業原理「顧客最優先主義」のもと、事業活動を通じて社会の発展に寄与し、持続可能な社会の実現をめざします。そのために私たちは、ステークホルダーの皆さまとの対話により、社会の変化や課題、ニーズを捉え、いち早く対応することで課題解決に努めています。

また、すべてのステークホルダーの基本的な人権を尊重し、高い倫理観と良識を持った企業として、ともに社会の発展をめざします。国内外で事業を展開している当社グループにとって、事業を行う地域への社会貢献活動も企業としての責任の1つです。地域社会との良好な関係の構築を重要視し、さまざまな活動に取り組んでいます。

■ 地域コミュニティの形成やシニアの健康問題に貢献

高齢化や過疎化などにより地域コミュニティの活力低下が叫ばれるなか、地域活性化の一助となるよう、本社を構える東京・中目黒の社屋では、2010年から毎年「目黒川お花見会」を開催しています。2019年3月下旬から4月上旬の14日間で、地域の高齢者施設や町内会の皆さま、パートナー（お取引先）さまなど約4,200名をお迎えし、栈敷席で桜をご堪能いただきました。

また、ユニーは、認知症の方やそのご家族、地域住民、認知症に関心のある誰もが気軽に集まって仲間づくりや情報交換を行う「認知症カフェ（オレンジカフェ）」を、4店舗において開催しています。市並びに地域包括支援センターと連携し、認知症と診断された方やそのご家族が、どこで相談すればいいかわからない初期ケアの問題解決などをサポートしています。



目黒川お花見会



アピタ千代田橋店で開催された「認知症カフェ」

■ ドン・キホーテ店舗内保育園「ドンキッズ」を開設

働き方の多様化や女性の社会進出により、保育園の入園希望者が増えています。希望者に対する保育園の数が足りておらず、待機児童の問題が発生しています。国の対策や新制度の導入などにより少しずつ改善されていますが、いまだ全国には約17,000人*の待機児童が存在しています。

この問題を解決するため、従業員向け店舗内保育園「ドンキッズ」の設置を推進し、MEGAドン・キホーテ5店舗に開設しています。今後も待機児童問題の解消と、地域、保育園、店舗が一体となった子育て環境づくりに挑戦していきます。

* 出典：厚生労働省「保育所等関連状況取りまとめ」（2019年4月1日時点）



■ 未来を担う子どもたちにサステナブルな教育の場を提供

子どもたちの職業観の育成に寄与することを目的に、商売を通じて働くことの楽しさや責任感を体感してもらう学習の機会を「商育®」と名づけ、全国の当社グループ店舗で実施しています。2019年は小中学生を中心に延べ230校、1,937名に体験していただきました。

また、ユニーは、子どもたちがSDGsや環境問題を身近な問題として捉えることができるように、楽しく体験しながら学べるオリジナルの出張授業を開催しています。「環境にやさしいお買い物とSDGs」をテーマに、リサイクルの取り組みや、再生資源を使ったリサイクル工作を通じて、身近なスーパーマーケットでのお買い物が

地球にやさしい買い物になることを知ってもらい、次世代育成に貢献しています。2019年は、小学校など16カ所で約900名に体験していただきました。



オリジナルの手書きPOP作成体験



ユニー従業員による出張授業

■ 災害時における地域との連携

当社グループは、災害被災者の支援を積極的に行うとともに、災害が起きたときの対策を迅速かつ円滑に行うために、各地に出店している当社グループのネットワークを活用し、各地域と協定を結んで連携を強化しています。ユニーは、愛知・岐阜・三重・

石川・千葉・神奈川の6県と包括協定を締結しており、またドン・キホーテ店舗では2018年から2019年の期間に、千葉県八千代市、神奈川県秦野市、山梨県甲府市、埼玉県蓮田市とそれぞれ協定を締結しました。

神奈川県秦野市「災害時における生活物資の調達、供給及び徒歩帰宅困難者支援に関する協定」

秦野市内で災害が発生した場合において、被災住民等を救援するための物資を調達し供給できるようにするほか、公共交通機関が途絶するなど、やむを得ず徒歩で帰宅する者（徒歩帰宅者）への支援を迅速かつ円滑に行うことをできるようにする。

① 救援物資の供給

供給物資の範囲は食料品・日用品等の生活必需品、または災害時の応急対策に必要な物資として市内にある店舗が供給できるもの。

② 徒歩帰宅者への支援

支援の範囲は休憩スペース・トイレ・飲料水のほか、テレビ及びラジオ等による情報など、市内にある店舗が提供できるもの。



■ 熱中症予防声かけプロジェクト

当社グループは、お客さまが快適に安心してお買い物を楽しめるよう、環境省と官民一体で取り組む「熱中症予防声かけプロジェクト～ひと涼みしよう～」に2015年から参加しています。環境省が「熱中症予防情報サイト」で提供している「暑さ指数」の情報を店内モニターで表示するなど、熱中症予防のための具体的な行動をお客さまへ呼びかけています。

5年目となる2019年は、ユニー、UDリテールが運営する「アピタ」「ピアゴ」「MEGAドン・キホーテUNY」などの店舗でも取り組

みを開始し、店内放送やPOP、啓発ポスターの設置など、さまざまなアプローチでお客さまに熱中症予防を呼びかけました。

